

別表第1（第5条関係）

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	総合開発センター管理運営費						
担 当 課 係 名	田沢湖公民館 課		-		係	作成者	黒澤文喜
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	特色ある資源を活かした産業創造のまち					総合計画の ページ
	基本計画	特色ある農業の振興					
	主要施策	農業基盤の整備					63
予 算 費 目	一般 会計		6 款 農林水産業費		1 項 農業費		6 目 農業施設費
事 業 期 間	平成 年度 ～ 平成 年度				新規／継続の区分		継続
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理						
根 拠 法 令 等	仙北市総合開発センター条例						
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務						
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助						

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市民
事業の目的・意図 (どういう状態に したいのか)	市勢の振興発展を図り、産業及び社会の開発並びに市民の健康及び福祉の増進に寄与するため。
事業の内容 (どのような業務、 活動を行うのか)	施設の維持管理

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	開館総時間数	目標	h	3,770	3,770	3,770	
			実績	h	3,770	3,770	3,770	
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
	成果指標	利用者数	目標	人	42,378	24,513	22,336	
			実績	人	42,378	24,513	22,336	
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				5,677	6,187	5,555	
	人 件 費 (B)		—		7,853	8,071	7,925	
	職 員 数	—		1.00	1.00	1.00		
		職 員 平 均 人 件 費		—	7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				13,530	14,258	13,480	
	財源内訳	国 庫 支 出 金				0	0	0
		県 支 出 金				0	0	0
		地 方 債				0	0	0
		そ の 他				277	284	366
		一 般 財 源				13,253	13,974	13,114
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		3,589	3,782	3,576
市民1人当たりのコスト(円)		—		424	454	434		

【事務事業の今までの成果】

市民や行政の会議場所としてまた、各種団体・サークル等の学習の場として活用されている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	指定管理者制度の導入。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	建物の老朽化。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	A 現状のまま継続（実施）	施設として他に変わる施設がないので継続すべきである。ただし、今後指定管理者制度の導入も可能である。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

公民館としての機能を持っており、公民館で管理していますので今後の取組等については教育委員会及び産業観光部との話し合いが必要である。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	地域における公民館的役割を有しており、今後も必要な施設です。効率的な維持管理を目指して改善を図りながら継続すべきと考えます。

一次評価診断図

